

新宿折をり

NO. 34

- 大学合格者数
- 祝！入学 73 回生
- 進路指導部の先生紹介

夢は叶う

副校長 古溝 紀也

『夢は叶うか？』難しいテーマである。小さい頃から『夢は一生懸命努力を続ければ実現する可能性がある。あきらめたときに夢で終わる』と教わってきた。ヒネクレ者の私は小学生で既に『夢を叶えられる人もいるかもしれないが、自分には当てはまらない』と思うようになっていた。なぜなら、地元の小学生の大半はプロ野球選手になりたいと思っていたが（私もそうだった）プロ野球選手になれる人はまずいないからだ。

リトルリーグ宮城県代表として東京遠征試合に行く機会があった。田舎では強かったが、東京の2軍チームにも勝てなかった。このとき小学校4年生。プロ野球選手にはなれないと悟った。

『夢は叶う夢と叶わない夢がある。叶わない夢に努力をするのは無駄で、実現しそうな夢に向かって努力をすれば良い。』この考えは教師になってからも続く。生徒の夢を聞き、「頑張れ！」と励まし、心の中では『難しいだろうなあ』と思う。しかし、あるとき、大きな夢を実現させる生徒達が現れる。思い返せば、彼らは進路面接で目を輝かせながら楽しそうに夢を語っていた。モデル、プロレスラー、有名劇団の俳優、マルチタレント。心の中で『難しいだろうなあ』と思ったことを深く反省した。

夢をかなえた人たちの共通点。成功の秘訣。

目標を人に公言する。(隠さない)
時間が必要なことを自覚している。(努力が続けられる)
自分を信じる。(自分を愛する)

実は3年次生の自習室の入り口に掲示してある『合格する生徒の習慣』にも同じことが記載されている。

先日のテレビ番組の中で、マルチタレントになった教え子は人生を振り返った。同じ事務所の女優さんの天才的な演技を目の当たりにして驚愕し、オーディションに落ちまくり、「叶わない夢があるのだなあ」と思ったそう。そして、転機が訪れる。爆発的に売れた。なぜか？本人曰く、髪の毛をショートにしたから。

□ 2018 大学合格者数

大学合格状況（現役・既卒生 4/18 現在）

主な国公立大学等			主な私立大学(延べ)		
	現役	既卒		現役	既卒
北海道大	2	1	青山学院大	15	2
岩手大	0	1	学習院大	11	2
山形大	2	0	北里大	9	0
東北大	1	1	慶應義塾大	21	7
宇都宮大	1	0	國學院大	7	2
筑波大	4	1	駒澤大	7	3
千葉大	9	0	芝浦工大	25	11
埼玉大	2	0	上智大	13	4
東京芸術大	0	1	成蹊大	11	4
電気通信大	1	0	成城大	6	1
東京大	0	2	専修大	3	2
東京医科歯科大	2	0	中央大	34	19
東京海洋大	3	0	津田塾大	11	2
東京外語大	2	1	東京女子大	7	4
東京学芸大	8	0	東京農業大	24	0
東京工業大	3	5	東京薬科大	5	0
東京農工大	6	0	東京理科大	29	16
一橋大	3	4	東洋大	22	14
首都大学東京	13	2	日本大	40	2
横浜国立大	6	1	日本女子大	15	9
横浜国立大	1	1	法政大	36	31
信州大	3	0	東京都市大	3	6
静岡大	1	0	武蔵大	7	2
京都大	1	0	明治大	72	36
高知大(医学部)	0	1	明治学院大	11	4
福島県立医科大	0	1	立教大	15	58
九州大	0	1	早稲田大	44	22
その他	5	7	その他	117	6
計	79	25	計	654	265
	104			919	

この春の大学合格者数がまとまりました。国公立大学（文科省以外が所管する大学校を含む）の合格者数は、現役と浪人生を合わせて 104 名になりました。昨年は 118 名でしたので、若干変動がありましたが、ほぼ同レベルの結果だったと言えます。中でも東京工業大学の合格者数が現浪あわせて 8 名となり、これまでにない成果でした。

一方で早稲田大学の合格者数が昨年の 51 名から 44 名となっています。これは大学側が合格者数そのものを減らした煽りを受けたものと思われます。

○赤本ルール

進路室前の廊下と、隣の資料室に赤本が置いてあります。赤本とは大学の過去の入試問題を大学ごとに一冊の本にしたものです。

使い方 今の時期では、それぞれの大学の出題傾向や難易度をチェックするのに使います。時間を計ってやってみても、今はまだ合格点には届かないかもしれませんが、傾向を知り、対策を講じるために使ってください。入試直前期には文字通り、自分の力試しに活用します。

ルール 廊下に置いてある貸出簿に必要事項を記入すれば借りられます。冊数や期間は特に制限していませんが、みんなが使うものですから常識の範囲内でお願いします。12 月になると冊数、貸出期間を制限します。あらためて連絡します。

○医師・看護師体験の案内

進路室前の廊下掲示板にさまざまな案内のポスターが掲示してあります。将来、医師や看護師を目指している人は、一日体験をしておくのと面接試験のときに有利かもしれません。

ちょっと遠回りでもときどき進路室前の掲示板を見るようにしましょう。

祝！入学 73 回生

4月7日、新宿高校第73回入学式が挙行され、新入生319名が入学しました。そして休む間もなく10日・11日のセミナー合宿に出かけ、新宿高生としての心構えを学んできました。13日金曜日からは待ちに待った授業が始まっています。そこでアドバイス。

とにかく最初が肝心です。とりあえずは5月の中間考查を意識して準備をしましょう。

その1. 勉強する習慣をつけよう！ 毎日 予習！復習！

高校の授業で驚くことは各科目の専門性とその進み具合でしょう。特に授業の進度は中学校とは比較になりません。今日習ったことは翌日には既に皆が完全に理解したものとして、それを基礎にして先へ進みます。毎日の予習、復習は欠かせません。

その2. 定期考查は100点を目指そう！

定期考查は出題範囲が決まっています。ほとんどが授業で習ったことです。100点を取れないことはないのです。平均点以上とすることで満足せず、是非満点を目指して取り組みましょう！

目標は「全員が満点」。

その3. 先生に質問しよう！

授業でわからないところは、積極的に担当の

先生に質問しましょう。教員室の座席は教科ごとに並んでいます。担当の先生が不在でも、その近くの席の先生に尋ねてみましょう。授業以外のわからないことは担任の先生に相談しましょう。自分から動き、声を出すことが肝要です。

○今年度の進路指導部の先生

進路部 専任	加藤 義彦 先生（主任・数学）	
	宮山先生（副主任・数学）	
	岡崎先生（保体）	谷口先生（地歴）
	富重先生（数学）	峯先生（国語）
	宮田先生（英語）	
1 学年	佐藤先生（地歴）	笠原先生（英語）
2 学年	飯島先生（公民）	浜中先生（英語）
3 学年	井先生（英語）	大谷先生（地歴）

進路指導室には、加藤、宮山、大谷、浜中の各先生が常駐します。進路に関わる相談など、用事があるときは訪ねてください。

また、進路指導室の隣が「進路指導資料室」になっています。ここには廊下に置ききれなかった赤本や、各大学のパンフレットなどの資料がおいであります。大学のパンフレットはまだ昨年度のものです。

先輩からの言葉

物理教師 30 年 — 努力は力、継続は宝 —

堀内 直代（15 回生）

私は長い間高校の物理教師をしてきました。後輩の皆さんの進路選択に反面教師として役に立つのではないかと思います、原稿を引き受けました。

<私の高校時代>

クラブ、学園祭及び日常に於いても楽しいものでした。この高校に入学した生徒たちは皆かなり中学ではトップレベルの生徒たちばかりでした。私は高校に入学してからは、最低の勉強量だと思います。成績は下がり、数学以外はあまり良い成績ではありませんでした。それでも

一年の時は中学の貯金もあり、楽しい生活を過ごしたと思います。高二になってもそれが尾を引いて、学園祭でオペレッタの主演をしたり、管弦楽部で、演奏したり、夏休みはバイトをしたりしていました。そんな中にまず、暗記科目ができなくなったにも関わらず、努力をしませんでした。これは後で、必ず後悔が残ります。というのは数学、物理は得意科目であり、周りは不思議なことに、難しいといっていたため、私はすっかり勘違いをしてしまいました。暗記なんて誰でも出来るのだと。それはとんでもない勘違いでした。暗記することは才能であり、国立に受かろうと思ったら、勉強が楽な高一から社会科は勉強しておかねばならなかったのです。それを私はしませんでした。さすがに高三になり受験を意識しました。

<私と大学>

浪人してもやはり、社会科目の多い東大は諦めて、お茶の水女子大の物理科へ入学してからには自覚を持って将来物理の研究者になろうと思い始めました。そして、そのまま大学院に進み、原子核の勉強を始めました。しかしこの大学は博士課程がありませんでした。大学の指導教官に大学の勤め先を世話してもらったにもかかわらず、京大に就職が決まっている人と、結婚し、断念して、京都に行きました。その時に、京大の研究生として、原子核の勉強を続けることができました。その後、阪大のゼミに参加させてもらいました。森田先生と共著で、研究論文も一つ出しました。京大の先生にも森田先生にも大学就職のお話を頂きましたが、何と、それらを断ってしまいました。少し経ってからお願いに行ったら既に別の人が決まっていた。今から考えるととんでもないことをしてしまいました。自分の能力も顧みずにした行動は後で、後悔してもしきれないことでしたが後の祭りでした。その後は二度と話は来ませんでした。チャンスはめったにないということです。この時を教訓に、それからは二度と断ることをしないと決めました。

<私と就職>

やがて、京大の掲示板に奈良の高校で数学のできる物理の教師を募集していましたので、すぐに飛びつきました。その時このチャンスを失ったら二度と就職はできないと思い応募しました。歳は既に二十九歳でした。面接だけで即オーケーをもらいました。

暫くして、本格的に教師としての努力を始めました。そのうちに段々とその成果が現れ出しました。そして、その時の校長と何人かの教師で、女子英数コースを作りました。初めは他の教師達に随分と叩かれましたが、その成果が出始めてからは何も言われなくなりました。

奈良県理科学会で実験書を作ったり、研究グループに所属したり、日本物理教育学会で役員をしていました。停年で退職したあとも編集委員をして、最近、高校または大学教養のための『基礎物理』を編集委員達で発行しました。この仕事に満足していました。

言いたいことは努力、継続に勝るものはないということです。早くから目的を持たなくても、自分の得意とするものを伸ばすためにも、それだけの努力をしてもダメです。基礎勉強をしっかりして下さい。そして、自分の志望する大学に入れることはその後の長い人生にとっても影響します。とにかく努力をする者が勝利を得るのです。私は随分遅くなって気づきましたが、気付いただけマシだと思っています。

小学校三年から始めたバイオリンも今でも続けて、演奏活動もしています。それと、教師をして、初めて生け花の美しさを知りました。奈良の野山の木や草花を行ける「大和未生流」に出会いました。師範を取り、今は理事もして頑張っています。その目的に向かって最大限の努力をすることが一番だと思います。失敗しても、そこから第二の人生を選び、再び頑張ることで新しい希望が生まれます。目的を持って努力してください。必ずや素晴らしい未来が待っています。

(同窓会のご協力を得て「先輩からの言葉」を掲載しています。)